山の根踏切

ＪＲ東日本が8/20廃止通告

子どもと高齢者の命を奪った踏切、2019年３月事故後、緊急停止１２回発生

7月11日、JR東日本の「山の根踏切廃止説明会」が行われ、４回の地元との意見交換会で提案された案も検討。しかし、警報機と遮断機設置は困難と判断した理由を説明、改めて廃止への理解を求めました。住民からは「勝手に決めるな」と抗議の声もあり、強く反発。怒号の中で終了…。

逗子民報

日本共産党逗子市議団

岩室年治

橋爪明子

2021年７月　臨時号⑤

事務所 沼間2-15-4　871-1321
市役所 873-1111 内線418
岩室自宅　fax　871-7969

綾瀬市立中学校の女子トイレに置かれた生理用品

小中学校への生理用品設置 女性の貧困対策を求める

７月６日、党議員団は桐ケ谷覚市長と大河内誠教育長と面談し、以下の申し入れを行い、早急な対応を求めました。

生理用品の無料配布等と女性の貧困対策を求める要望書

コロナ禍で女性の貧困が深刻さを増す中、「生理の貧困」が社会問題化しています。全国の自治体のなかには、更新時期を迎えた防災備蓄用の生理用品（保証期間５年、市の備蓄は一部７年経過した物あり）を無料配布するなど迅速な取り組みが広がりをみせています。こうした自治体の動きを受け、国は交付金の対象に生理用品の無料配布を加えました。逗子市と逗子市教育委員会においても、早急に生理用品の無料配布等に取り組むよう、以下について要望します。

１．市として生理用品の無料配布を行うこと。
２．生理用品とともに食料品等の必需品も配布すること。
３．無料配布の際、女性の様々な相談を受けられるようにすること。
４．社会福祉協議会等が行うフードバンクなどでも、生理用品の無料配布ができるよう支援すること。
５．市立小・中学校においても、保健室での生理用品の無料配布と併せて、女子トイレに生理用品の配置を行うこと。

７月７日、横須賀民主商工会婦人部（民商）が、国保健康課と国保問題で面談し、以下の２点の要望しました。岩室・橋爪議員も同席しました。

コロナ禍、収入が減った深刻な零細事業者の状況を訴え、市に国保の改善を強く求めました。

①事業者にも傷病手当などを支給すること。
②減免の収入基準を2019年分とすること。また、財源は市の負担をなくし、国に全額負担を求めること。